



| |
|-------|
| 019.9 |
| Ke,41 |

『私たちは
なんのために働くのか』

| |
|-------|
| 159.4 |
| Mo,75 |

諸富祥彦／著
日本能率協会マネジメントセンター／発行
2013年9月／刊 資料コード／115287633

悩み多き社会人をやさしく救う。社会に出て働く時、戸惑い悩むことが多くあります。人によっては、その悩みが原因で、心に取り返しのきかない傷を負ってしまう人も…。本書では、現代社会が抱える職場環境の問題、人の意識の問題を指摘。人生にどのような働き方・考え方が必要なのか、ヒントを与えてくれる一冊です。



| |
|-------|
| 290.1 |
| l,43 |

『みんなの空想地図』

今和泉隆行／著 白水社／発行
2013年11月／刊 資料コード／115299257

こんな地図、みたことない??

幼い頃、父親と連れ立って出かけたバス・トリップ。終点までバスにのって、流れ行く風景を見つめる。まだ見ぬ路線に思いを馳せ、その道々にあるだろう物語を想像する…。やがて、その空想を地図に表す楽しみを知った著者は、技術を駆使してリアルな“空想都市”地図を創造していきます。そこに住む人々の小さな息遣いまで見えてくる、“空想”と“地図”の魅力余すことなく伝える一冊です。

| |
|--------|
| 291.92 |
| Ko,12 |

『佐賀の逆襲』

かくも誇らしき地元愛』
小林由明／著 言視舎／発行
2013年11月／刊 資料コード／115306805

まじめに検証?あの歌の真実…。2003年に発表され、NHK紅白歌合戦でも唄われた『佐賀県』という歌を覚えていますか?この歌のフレーズは、果たして本当だったのか?あれから10年、佐賀に縁を感じる著者と、佐賀の魅力を知り尽くした面々が、座談会を開き検証します。現在の佐賀の姿を2013年バージョンの歌詞にして紹介。異色の佐賀ガイドブックです。

『震災と民話』

| |
|-------|
| 388.1 |
| Sh,69 |

未来へ語り継ぐために』
石井正己／編 三弥井書店／発行
2013年12月／刊 資料コード／115320582

忘れないで、覚えていてほしい。地域に伝わる民話には、昔起こった惨事を後世へ遺そうとして生まれた話も数多くあります。長く語り継がれた話に教訓を見出し、時には身を守る術とすることもあります。過去、日本を襲った災害と、東日本大震災を見つめ、時間と共に風化しようとする記録を留めようと、民話を語り継ぎ、未来へ活かそうと活動する人々がいます。記憶の大切さを訴えます。

| |
|-------|
| 726.1 |
| Y,56 |

『ぼくは戦争は大きらい』

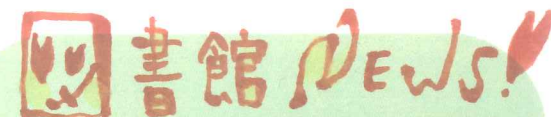
やなせたかし／著 小学館／発行
2013年12月／刊 資料コード／115317455

“やなせたかしの平和への思い”
2013年、その死が惜しまれた『アンパンマン』の作者・やなせたかし氏。明るくやさしい正義の味方を生み出した氏は、かつて戦争を体験した一人。亡くなるわずか数ヶ月前、その戦争体験が語られていました。野戦重砲隊や暗号班に配属され、軍隊や戦地で見たこと。弟が戦死した悲しみや、その後の人生をいかに生きてきたのかを、快活に語ります。反戦のメッセージです。

| |
|------|
| F |
| 0,77 |

『三月』
大島真寿美／著 光文社／発行
2013年9月／刊
資料コード／115285892

3月のあの日。闇にさした光。かつて同じ短大で学んだ女友達6人。卒業後は、なんとなく繋がりがながらも、互いの近況は曖昧に過ごしてきた。戸惑い、自分を見失いかげながらも、なんとか強く生きようとする日常。誰もが言えない痛みを抱える中、ふとした思い出が20年ぶりの再会を連れてくることになる…。“あなたがいてよかった”人生の幸せを謳う物語です。



歌い継がれた『佐賀の民謡』
データベース化されました!

1988年、佐賀県教育委員会が編集した『佐賀県の民謡—佐賀県民謡緊急調査報告書一』。

その中で取り上げられている、佐賀で歌い継がれた「民謡」864曲を、佐賀県立図書館データベースとして公開しています。

一部の民謡は歌詞のみですが、多くのものが、味のある音声で、実際に聴くことができます。

わらべ唄・祭り唄・祝い唄といった「民謡の種類・内容」、
「伝わっている地域」などから検索できて便利です!

むかし、誰かに歌って聞かせてもらった、温かい記憶。

いまはあまり聞きなれない、ちょっと不思議で楽しい節回し。

伝承される、佐賀の貴重な遺産に触れてみませんか?

詳しくは、佐賀県立図書館HP
「デジタルライブラリー」をチェック♪

■編集■ 佐賀県立図書館
企画課 図書館ネットワーク担当
(0952-24-2900)

お問い合わせはこちらまで。

■この通信はHPにも掲載しています。HPでは、蔵書検索もできます。☞<http://www.tosyo-saga.jp/kentosyo/>



『<建築>としてのブックガイド』

藤原ちから+辻本カ／編 明月堂書店／発行
2011年2月／刊 資料コード／115304081

建築専門書ではありません!

たとえば、玄関。リビング、書斎にバスルーム。私達に身近なこれらの場所に、あなたはどんなイメージをもっていますか? 建築物の様々なパーツからイメージされる本を紹介する本書。25組の書き手が、自らの感性で、部屋のイメージと重なり合う本の世界へ導きます。秘密基地といった、身近にはないけど憧れの場所、意外な場所も多数登場。斬新な構成のブックガイドです。

